

企業の出勤状況調査（2022年9月分）

<アンケート結果総括>

■集計結果概要

- ・概ね7割の企業がテレワークに、5割の企業が時差出勤に取り組んでいる。
- ・6月から7・8月にかけて、また7・8月から9月にかけて、全体の1～2割程度の企業が、テレワーク・時差出勤の取組規模を変えている。
- ・従業員の出勤割合について、9月は約4割の企業が「8割以上が出勤している」と回答しており、7・8月と比較してその割合は微増した。

- 以前から引き続き、多くの企業の皆様には、テレワークや時差出勤を始めとするスムーズビズの取組にご協力いただいています。
- テレワークや時差通勤を始めとするスムーズビズの取組は、新型コロナウイルス感染症の再拡大防止にも役立ちます。引き続き、スムーズビズにご協力をお願いします。
- 今回の調査では、スムーズビズで皆様が参考とされている情報発信についてもお伺いしました。引き続き、皆様の参考となるような情報の発信に努めてまいります。

- ・調査にご協力いただき、ありがとうございました。
- ・引き続き、定期的に調査を行い、登録企業の皆さまの取組状況把握に努め、都の取組検討に活用してまいります。
- ・今後とも、アンケートへのご協力をお願いいたします。

企業の出勤状況調査（2022年9月分）

<実施概要>

■ **対象**：約56,000社（スムーズBiz・時差Biz及び2020TDM推進プロジェクト登録企業、スムーズBiz実践期間の事後アンケート回答企業）

■ **実施期間**：2022年10月21日（金）～11月4日（金）

■ 質問項目（全10問）

Q1 9月の取組内容

Q2 6月と比較した、7・8月のテレワーク・時差出勤の取組規模の変化

Q3 7・8月と比較した、9月のテレワーク・時差出勤の取組規模の変化

Q4 Q1で「特に取り組んでいない」と回答した企業の、実施しなかった理由

Q5 7・8月の出勤割合

Q6 7・8月の事業所全体で最も出社人数が多い時間帯

Q7 9月の出勤割合

Q8 9月の事業所全体で最も出社人数が多い時間帯

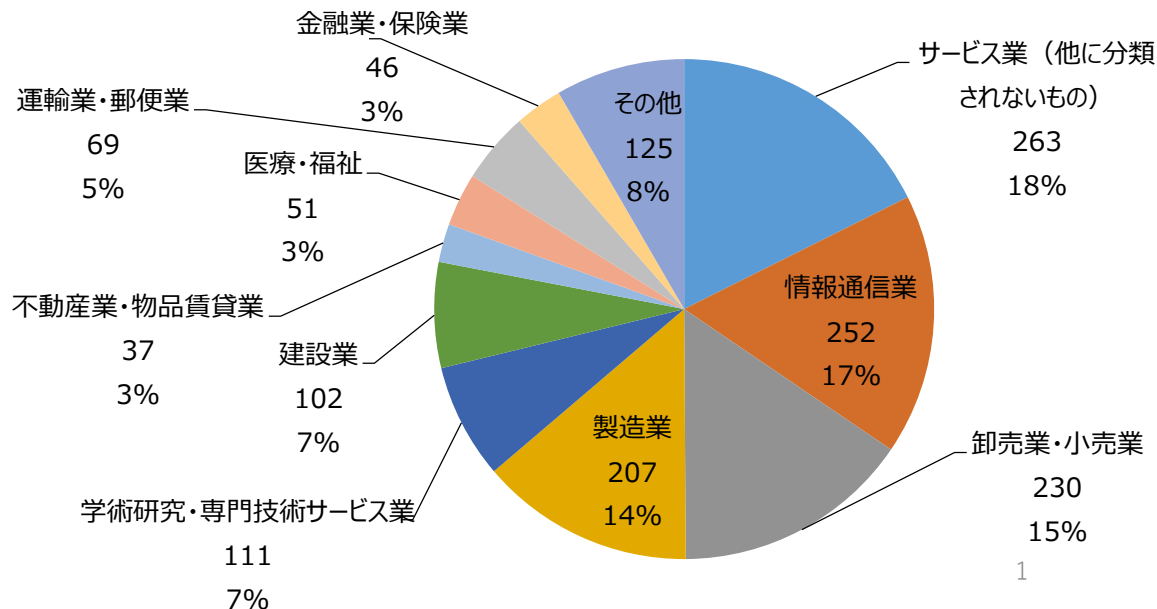
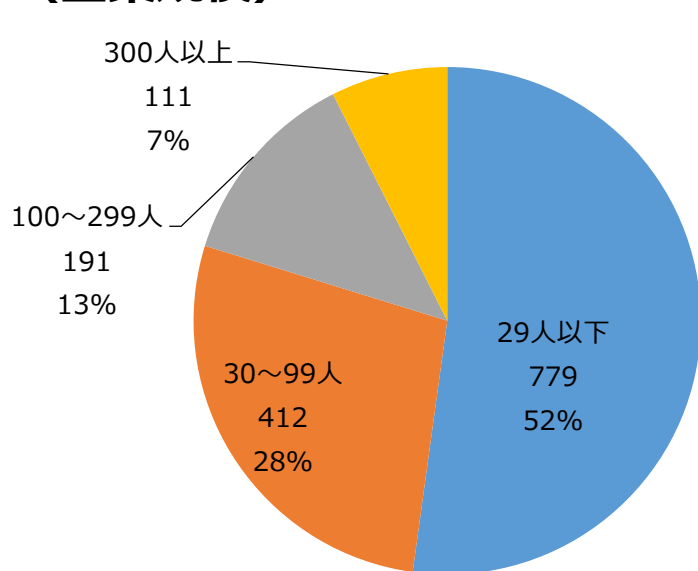
Q9 活用している通勤方法・混雑具合（鉄道利用者）

Q10 スムーズBiz情報の中で、参考になっているコンテンツ

■ **総回答企業数**：1,493社（前回調査：2,755社）

■ **回答企業の属性（N=1,493）**（注）各計数は、原則として表示単位未満を四捨五入しているため、合計等に一致しないことがある。

（企業規模）



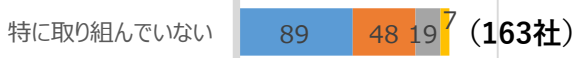
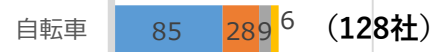
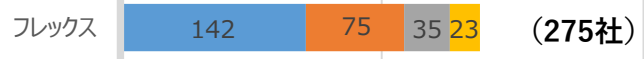
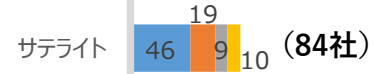
■ Q1：2022年9月の取組内容

○2022年9月の取組企業数（複数回答）
 ○全体の約7割の企業が、テレワークに取り組んでいる。
 ○テレワーク以外では、時差出勤を実施している企業が全体の約5割となっている。
 ○一方で、全体の約1割の企業は「特に取り組んでいない」と回答している。

0 200 400 600 800 1,000 1,200



(*)在宅勤務（終日、時間単位）、サテライトオフィス勤務のいずれか1つ以上を実施している企業数

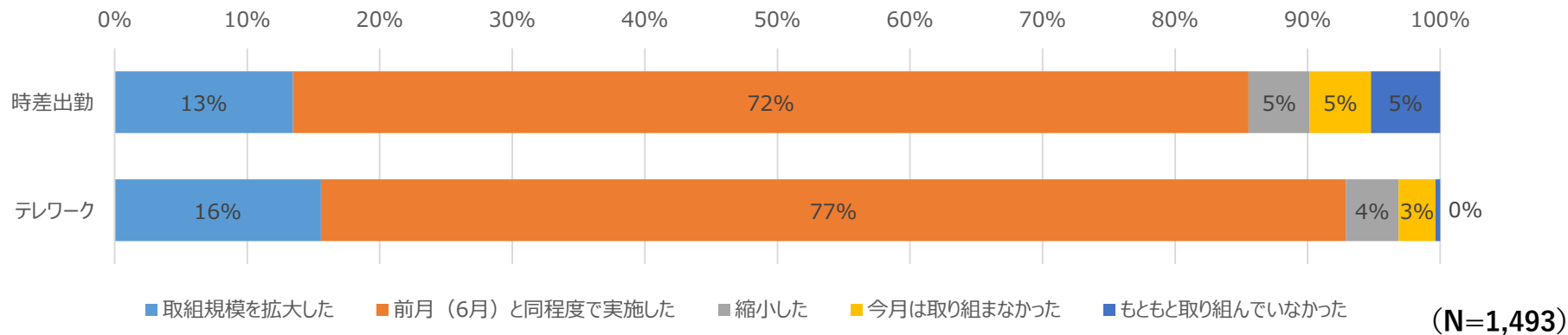


■ 29人以下 ■ 30~99人 ■ 100~299人 ■ 300人以上

(N=1,493／複数回答)

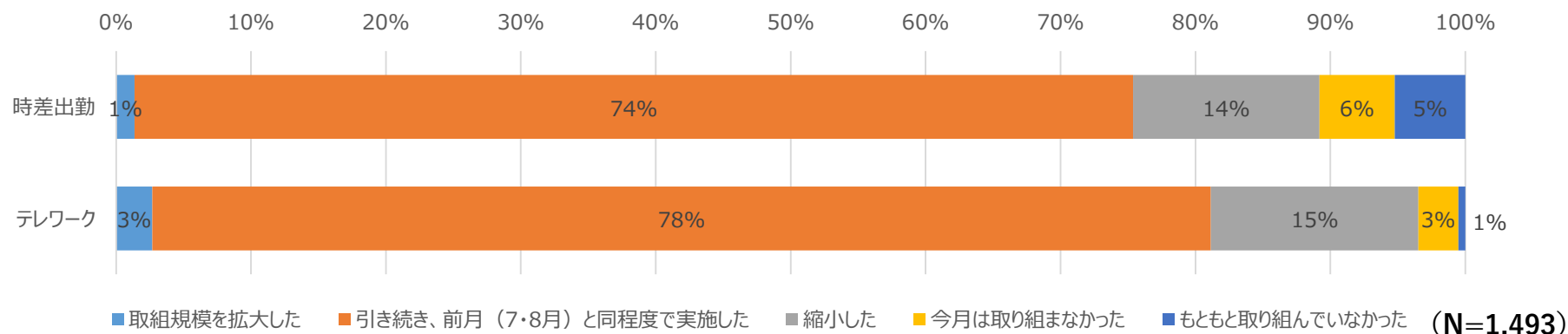
■ Q2：2022年6月と比較した、7・8月における取組規模

○2022年6月と比較して、新型コロナウイルス新規感染者が増加した7・8月のテレワーク・時差出勤の取組規模。
○7割以上の企業が6月と同程度の取組を行い、取組を拡大した企業も1～2割程度存在する。



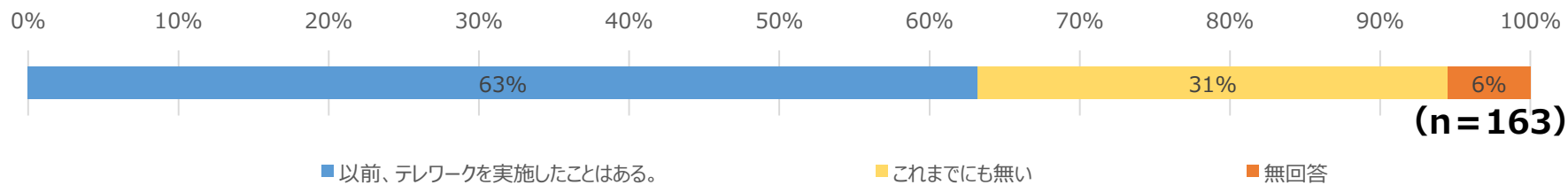
■ Q3：2022年7・8月と比較した、9月における取組規模

○2022年7・8月と比較して、新型コロナウイルス新規感染者が減少した9月におけるテレワーク・時差出勤の取組規模。
○7割以上の企業が7・8月と同程度の取組を行ったが、一方で1～2割程度の企業が取組を縮小した。

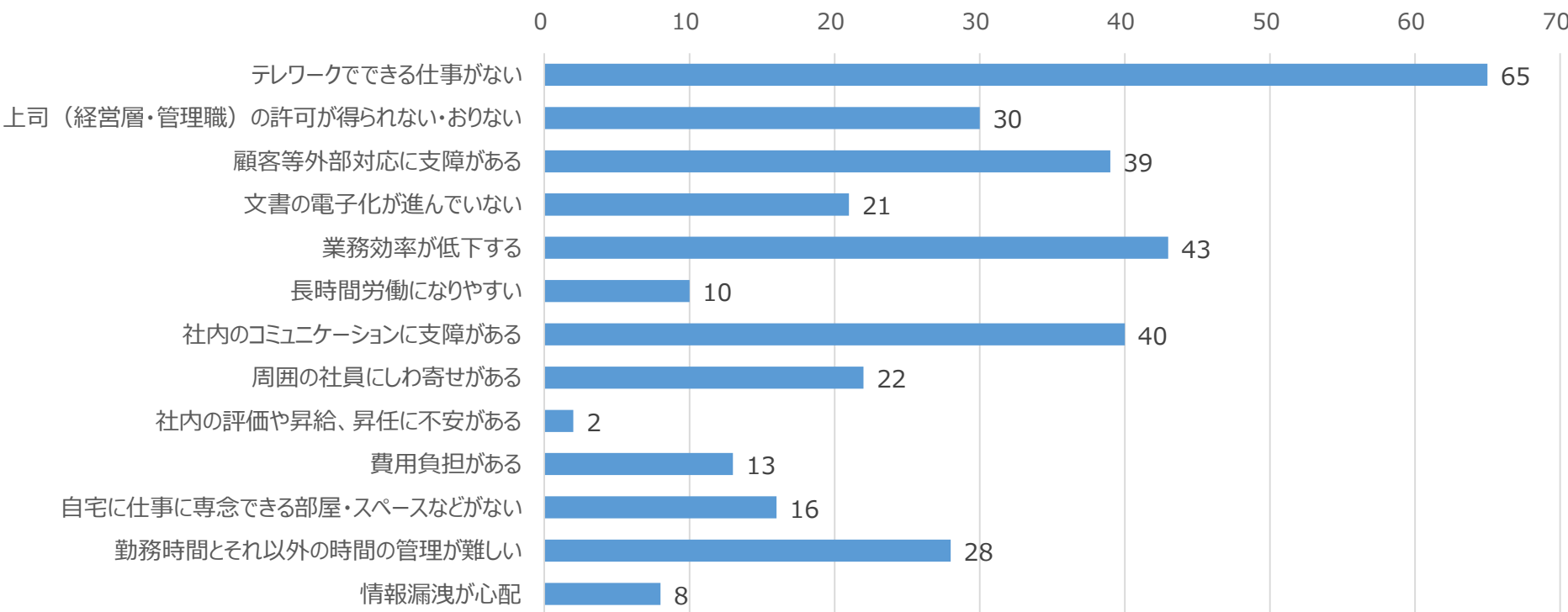


■Q4：テレワークの実施状況、未実施理由

○Q1において、「特に取り組んでいない」と回答した企業（163社）のこれまでの実施状況。
 ○「特に取り組んでいない」企業のうち、約6割が「以前、テレワークを実施したことはある」と回答。

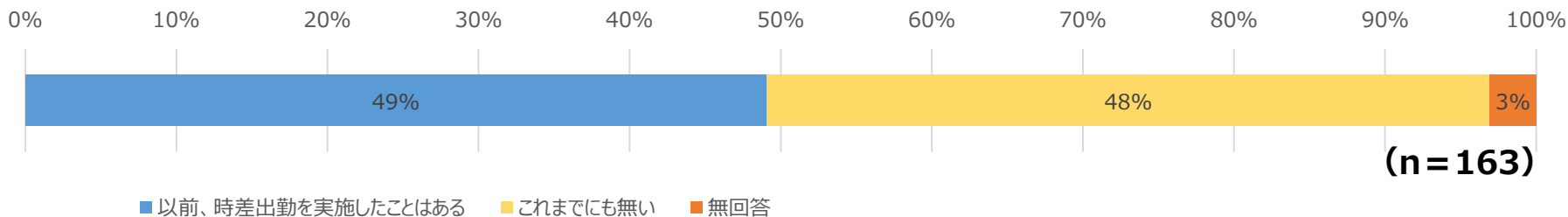


○Q1において、「特に取り組んでいない」と回答した企業（163社）のテレワークの未実施理由
 ○未実施理由について、「テレワークに適した仕事がない」と回答する企業が最も多い。
 「業務効率の低下」や「社内コミュニケーション」の懸念を挙げる企業も一定数存在する。（複数回答）

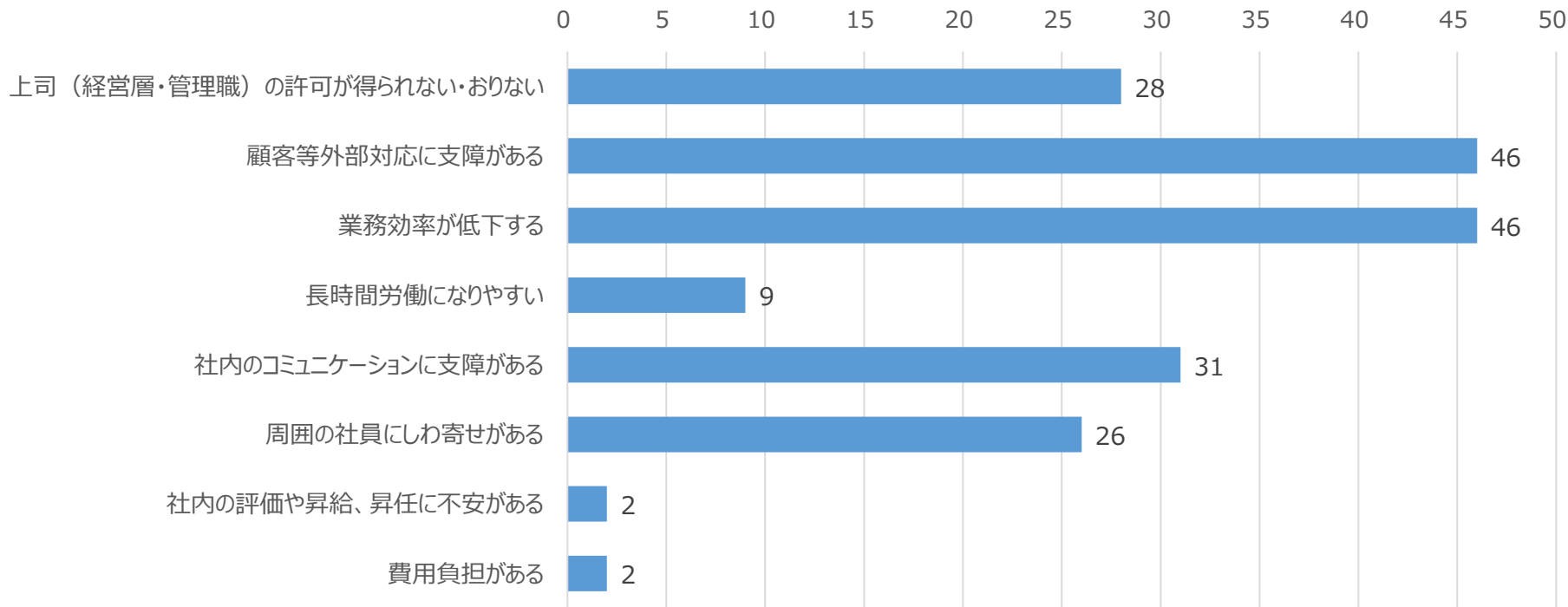


■Q4：時差出勤の実施状況、未実施理由

○Q1において、「特に取り組んでいない」と回答した企業（163社）のこれまでの実施状況。
○「特に取り組んでいない」企業のうち、約半数が「以前、時差出勤を実施したことはある」と回答。



○Q1において、「特に取り組んでいない」と回答した企業（163社）の時差出勤の未実施理由。（複数回答）
○未実施の理由として「業務効率の低下」「顧客等外部対応に支障がある」と回答する企業が多い。

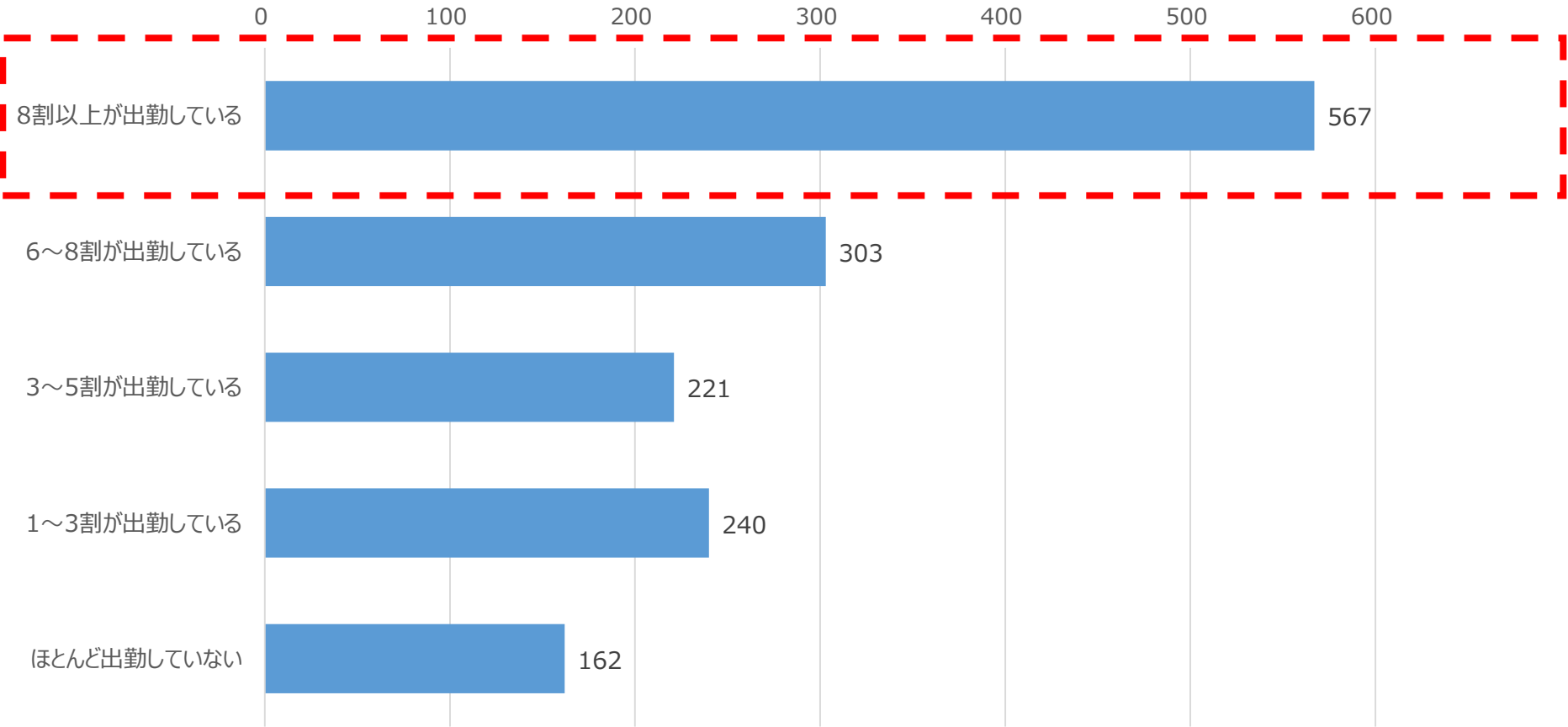


■Q5：2022年7・8月の従業員の出勤割合（人数規模）

○新型コロナウイルス新規感染者が増加した7・8月における、従業員の出勤割合。

○38%程度の企業が、「8割以上出勤している」と回答。

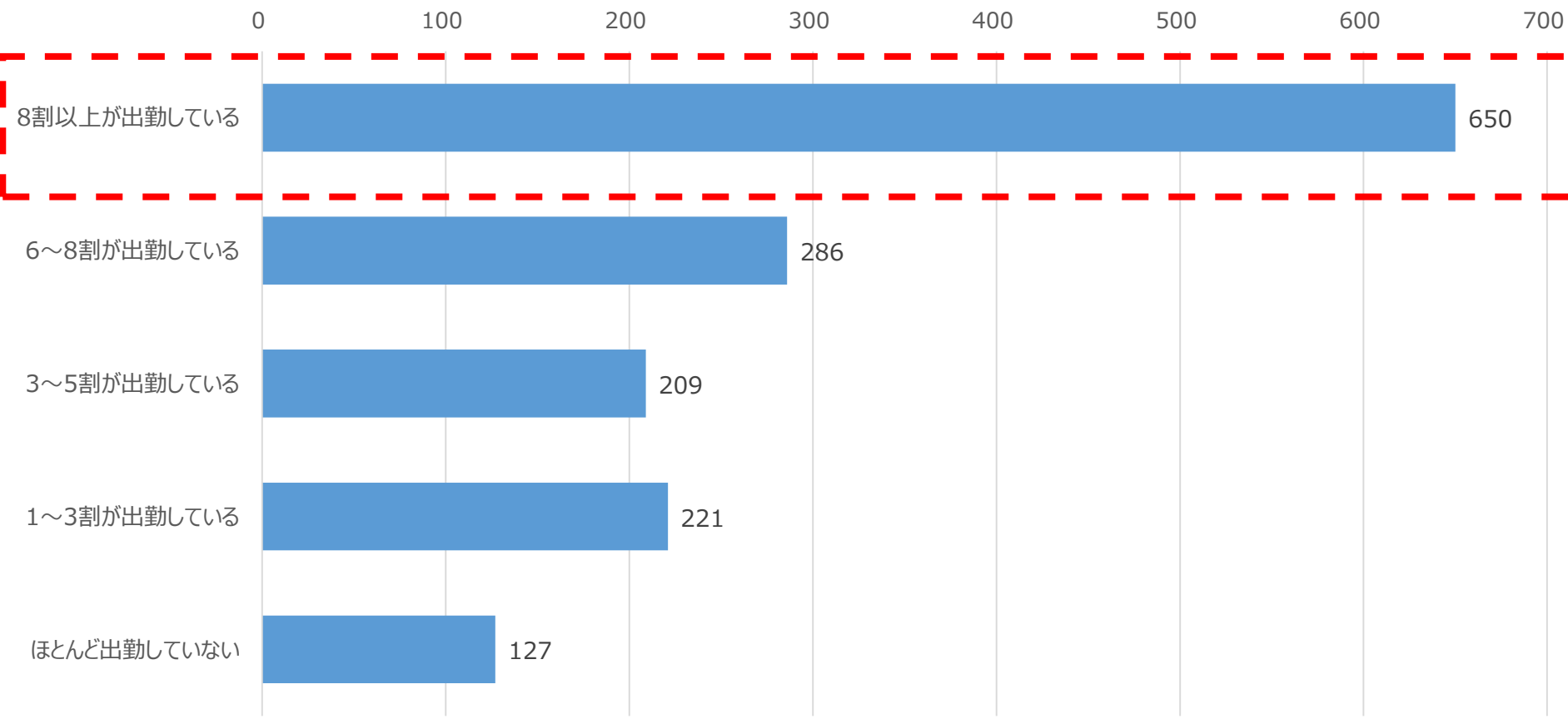
※参考：5月実施のアンケートでは、38%程度の企業が「8割以上出勤している」と回答。



(N=1,493)

■Q7：2022年9月の従業員の出勤割合（人数規模）

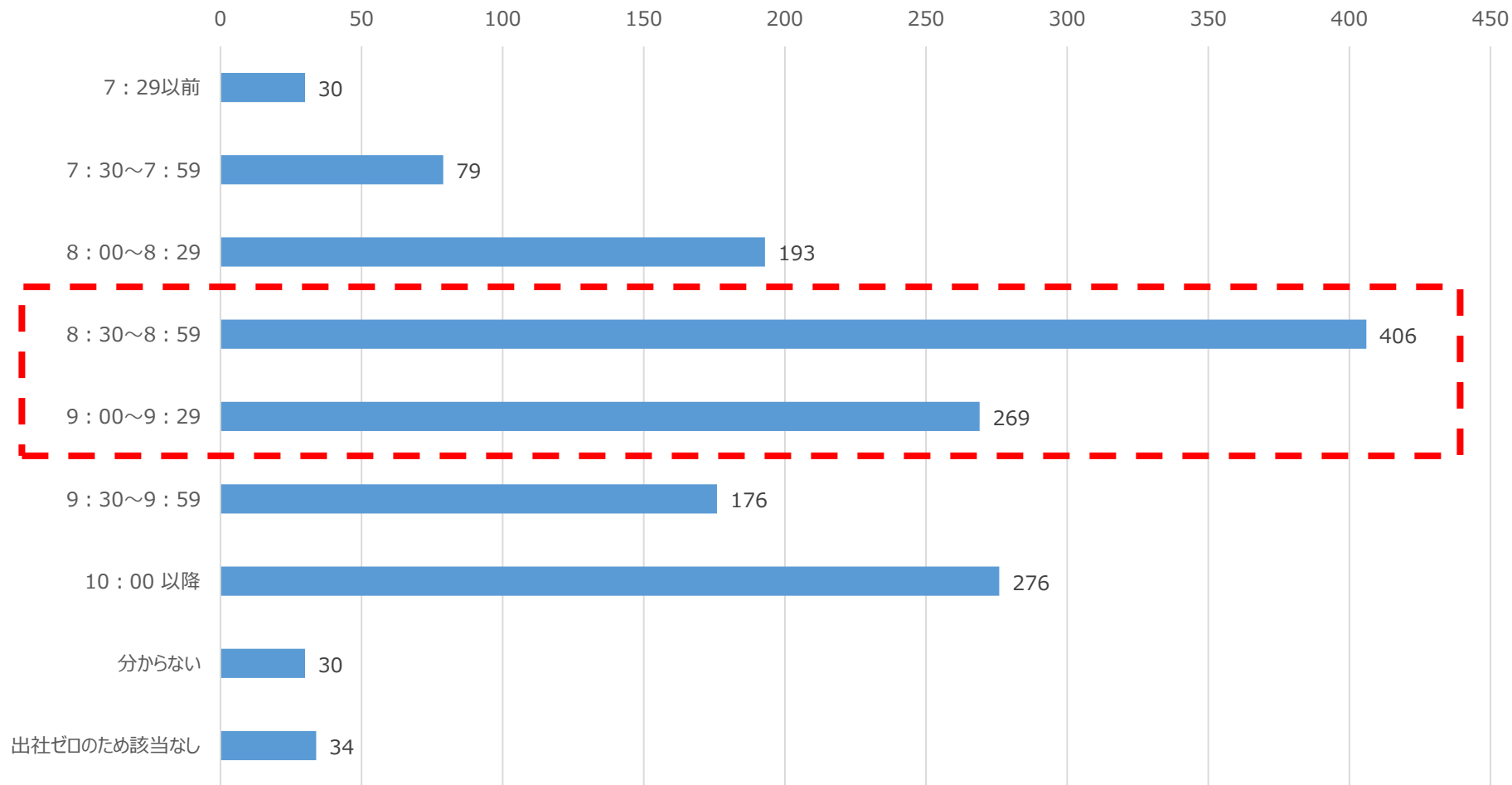
○新型コロナウイルス新規感染者が減少した9月における、従業員の出勤割合。
○44%程度の企業が、「8割以上出勤している」と回答。
※参考：5月実施のアンケートでは、38%程度の企業が「8割以上出勤している」と回答。



(N=1,493)

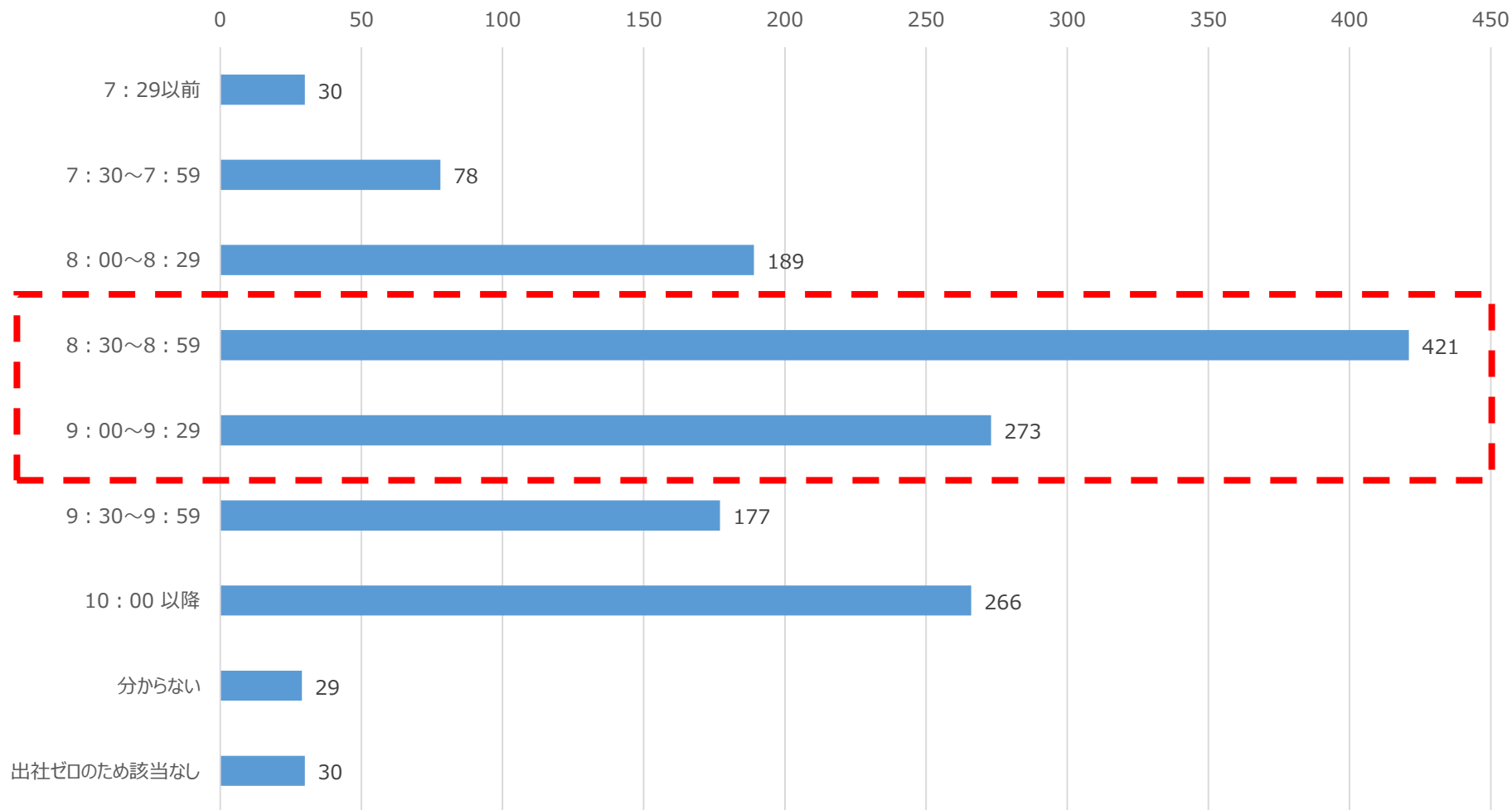
■ Q6 : 2022年7・8月の最も出社人数が多い時間帯

- 新型コロナウイルス新規感染者が増加した7・8月における、事業所全体で最も出社人数が多い時間帯。
- 「8:30~8:59」「9:00~9:29」の通勤時間ピーク帯に出社する企業が多い傾向はこれまでと変わらず、出社時間の傾向に大きな変化はあらわれていない。



■ Q8 : 2022年9月の最も出社人数が多い時間帯

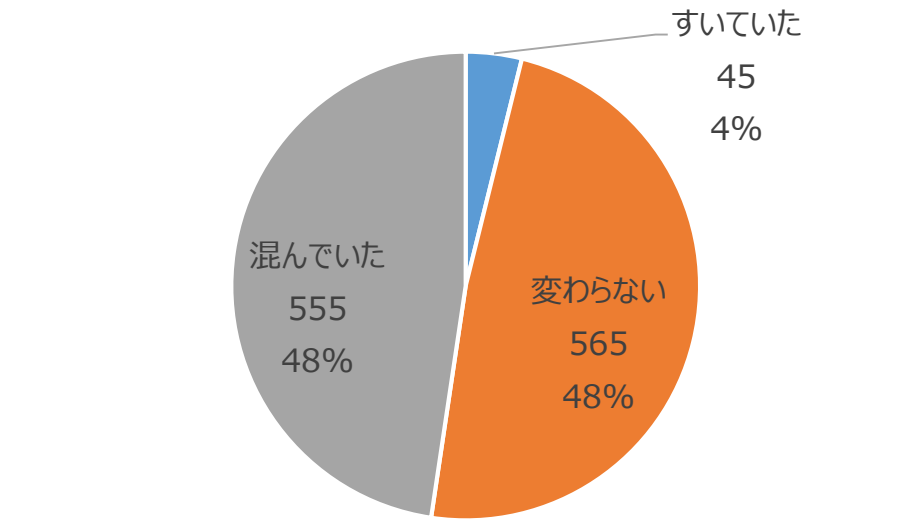
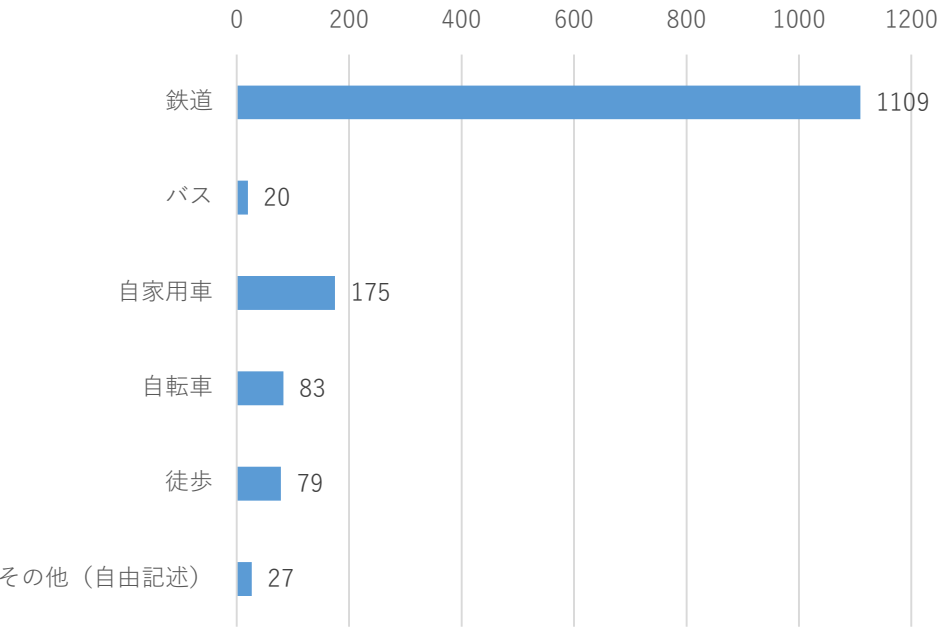
- 新型コロナウイルス新規感染者が減少した9月における、事業所全体で最も出社人数が多い時間帯。
- 「8:30～8:59」「9:00～9:29」の通勤時間ピーク帯に出社する企業が多い傾向は7・8月と変わらず、出社時間の傾向に大きな変化はあらわれていない。



■Q9：通勤方法（回答者個人について）

○アンケート回答者個人について、利用している通勤方法。
 ○「鉄道」を通勤手段としている方が約7割と、最も多い。
 ○1割以上が「自家用車」を使用している。

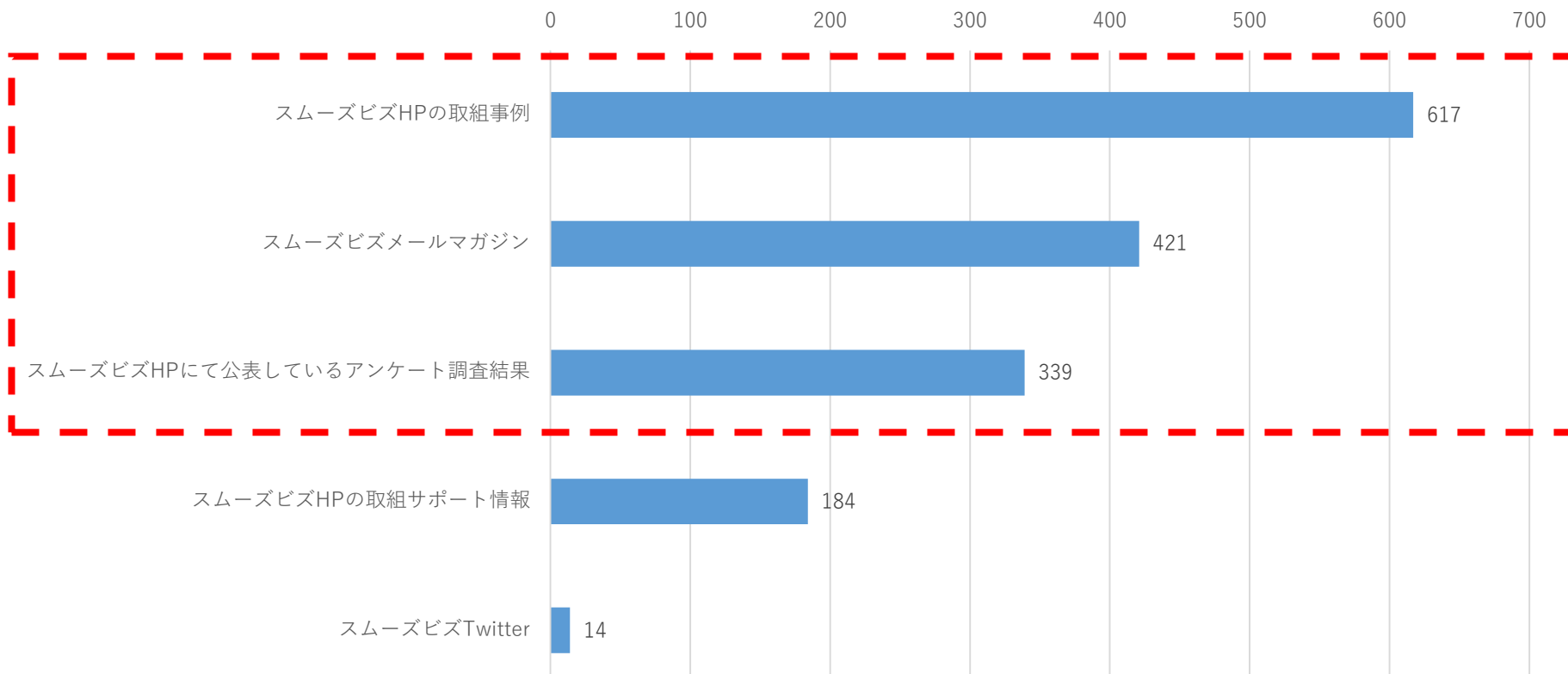
○鉄道で通勤している方について7・8月と比較した、9月の鉄道の混雑具合の感じ方。
 ○約5割の方が7・8月よりも混んでいたと感じている。



(N=1,493)

■Q10：スムーズBizで参考としている情報

- スムーズBizで発信している情報のうち、参考としているコンテンツ。
- 回答者の約半数が「取組事例」を閲覧しており、他企業の取組に関心を持っている。続いて「アンケート調査結果」「メールマガジン」を閲覧しているという回答が多い。



(N=1,493／複数回答)